



高知市教育研究所研究員「夏季学習会」～研究の中間発表～

平成25年8月15日(木)

平成25年度 研究員制度

ねらい

教育課程や学習指導法、学校・学級経営などについて、専門的な見地から調査・研究を行い、教職員として実践的指導力や資質・能力の一層の向上を図るとともに、研究の成果を広く高知市全体に普及し、学校教育の振興・充実に資する。

学力対策第二ステージに向かって！

教育課程

- ・ 中学校、小学校における外国語・外国語活動の円滑な接続
- ・ グループ研究で成果物作成

授業研究

- ・ 授業改善
- ・ 教科研究
- ・ 学習指導案の集積

情報教育

- ・ ICT機器活用(デジタル教材、電子黒板、タブレット等)
- ・ 「活用事例」の集積

学級経営

- ・ あったかアンケートの活用
- ・ 学級経営の充実
- ・ グループ研究

生徒指導

- ・ 組織的な生徒指導体制の構築
- ・ グループ研究

学校事務

- ・ 円滑な学校運営
- ・ 学びの支援
- ・ グループ研究

人権教育

- ・ 人権総合教育
- ・ 自尊感情を高める人権教育
- ・ 学習指導案、学校カリキュラムの作成

特別支援教育

- ・ 就学前教育との連携
- ・ 生活単元学習事例集作成
- ・ グループ研究で成果物作成

【方策1】今必要な課題に

- 幅広い課題に
- 緊急の課題に
- 保幼小中連携に

今、高知市で求められている課題解決を目指します！

【方策2】さまざまな視点から

- 教育相談の視点で
- 特別支援教育の視点で
- 授業づくりの視点で

研究所3班をあげて支援します！

【方策3】成果の見える化

- 成果物作成
- 研究発表会
- 集録配付

高知市全体の研究をリードします！

活動計画

定例会(随時)

4月
研究員
決定

5月
委嘱式

6月
第1回
定例会

7月
実践

8月
中間
発表

9～12月
実践・
授業研

1月
レポート
作成

2月
研究
発表

3月
研究集録
完成配付

「あったかアンケート(中学校)」を生かした効果的な個人・学級指導を行い、学校全体の課題解決につながるよう研究を進めています。

石川研究員(城北中)
建沼研究員(西部中)

学級経営(教育相談)



「あったかアンケート(小学校)」を活用し、子どもたちの視点から、学級の強みや弱み(課題)を明らかにし、自ら解決していこうとする学級集団の育成、温かい学級風土づくりを目指しています。

一園研究員(潮江東小)
谷中研究員(朝倉第二小)

生徒指導(教育相談)

組織的な生徒指導のもと、人間関係づくりやルールづくりを徹底することで、学級経営の充実に図り、生徒指導上の諸問題の改善を目指しています。

平松研究員(潮江中)
山崎研究員(介良中)

特別支援教育



特別支援学級や特別支援学校に携わる先生方に利用しやすい「生活単元学習実践事例集」の作成を進めています。

合田研究員(青柳中)
岡林研究員(市立養護)
谷研究員(鴨田小)

障害児保育

統合保育における保育士の連携や、子ども同士の関わり合いを大切にすることで、よりよい保育の実践を目指しています。

岡田研究員(地域保健課)

学校事務



学校事務の新体制に対応し、高知市全体の学校事務の均質化と事務職員の資質向上、「学びを支援する」学校事務を目指しています。

山下研究員(南海中)
西井研究員(三里中)

教育課程 (外国語・外国語活動)



小学校外国語活動での成果を、中学校外国語科に生かすために、中学校での授業を意識した小学校外国語活動の授業(活動のあり方)について検討し、あいさつや自己紹介、買い物、食事、道案内等言語の使用場面における「学習指導案集」を作成しています。

濱口研究員(土佐山中) 竹崎研究員(旭中)
上岡研究員(三里中) 岡崎研究員(神田小)
佃研究員(はりまや橋小)

授業研究(道徳)

児童同士が豊かな人間関係を築くことができるように、道徳の時間を中心に、各教科でも効果的な話し合い活動を行い、研究を進めています。

石本研究員(鴨田小)

授業研究 (教科研究・数学)

数学的思考力を身に付け、数学への興味・関心を高めることによって、家庭学習時間の増加と学力の定着を図った研究を進めています。

公文研究員(高知商業)



授業研究(授業改善・数学)

互いに協力をして課題解決に取り組む活動を通して、一人ひとりの生徒に「学び合い」の良さを感じさせることによって、学習意欲・学力の向上を目指しています。

鈴江研究員(大津中)

情報教育(ICTの活用)



国語科においてICT機器を活用することで、児童の学習意欲を高め、話し合い活動の活発化や理解力の向上を目指しています。

矢野研究員(第六小)

ICT機器を効果的に活用し、生徒一人ひとりに学習のゴールイメージをもたせることによって、学力の定着を図った研究を進めています。

田岡研究員(旭中)

ユニバーサルデザインの視点に立って、電子黒板やタブレットを活用した授業改善を行い、学習内容の共有化を図った研究を進めています。

徳弘研究員(小高坂小)

人権教育



身のまわりにある差別・矛盾・不合理などに対し、正しく判断・解決できるように、生徒の現状に即した課題を選択し学習を行っています。

土井研究員(朝倉中)

自他を大切に考え、行動できる児童の育成を目指して、一人ひとりの自尊感情を高められる人権学習教材の開発を行っています。

松岡研究員(介良小)

今年度、25名の研究員の終了式(1年間の研究成果発表会)を2月14日(金)に行います。
近づきましたら、各学校にご案内をさせていただきます。